

一般社団法人日本浪曲協会  
会長 富士 路子 (昭和43年卒)



曲師 伊丹秀敏

<白餅大名のあらすじ>

1570年、姉川の合戦で敗北した、落ち武者の 与右衛門こと後の藤堂高虎。正月まじかな28日、藤堂高虎は孫作と二人連れで、江州から望みを立てて出てきた、が、熱田の宿で無銭飲食をする。二人を一目見た宿屋の主は、「将来、城持ちの大名になるお方にお祝い」と言って、ただで泊めてくれた上に、小遣い銭5両を貸してくれる。

31年後、伊賀上野、安濃津の城持ちの大名になった藤堂和泉守高虎と、安濃津の城代家老になった孫作の二人が、尾張熱田まで昔の借金を返しに行く、と言う高虎出世報恩美談の物語。

(藤堂家の旗印が「三つ餅」であることは、これに由来するという。)